

# 自立活動 学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校  
教諭 〇〇 〇〇  
教諭 〇〇 〇〇

1. 日 時 令和元年11月〇日(〇)
2. 場 所 〇〇教室
3. 学 年 自閉症・情緒障害特別支援学級  
第1学年〇名 第2学年〇名 第3学年〇名 計〇名
4. 単元名 「C1菓子店」クリスマスクッキーを販売しよう！

## 5. 単元設定の理由

### ○ 生徒観

本学級対象生徒は、第3学年〇名・第2学年〇名・第1学年〇名の計〇名で編制されている。お互いが幼少期からの顔見知りも多いことから、関係性は良好である。その中でも、先輩を立てながら行動する場面や、感情のコントロールが難しい生徒に対しては自分たちの経験からアドバイスをするなど、生徒同士で優しい声かけができる場面が増えており、既存の小集団においての人間関係に成長が見られるようになった。しかし、交流学級では環境には慣れてきたものの、語彙の乏しさや発音の不明瞭さ等から自信が持てず、他者に自分の意図や気持ちを上手に伝えることができないため、円滑な人間関係を築けていない。そのため、マイナス表現を口にしてしまったり見通しが持てないなど日々の生活に不安を感じている。このように、個々の実態としては人との関わりが好きな生徒たちであるが、共通してコミュニケーションに課題を抱えている現状がある。

### ○ 単元観

前回の取り組みである「おもてなしレストラン」においては、振り返りの中で保護者の感想カードの声などから、自分自身の頑張りを認められたことに一定の達成感を味わうことができた。しかし、他者と自分を比べてという思いも出てきており、全体の中で役に立ちたい感情が芽生え始めている。このことから本単元では、より大きな集団で活躍できるよう取り組ませていきたい。菓子屋の店員となり、商品の内容や広告の作成においては、生徒同士が提案しながら準備し、相手に喜んでもらえるもの、目に留まる工夫などを考えさせていきたい。

役割分担は、これまでの作業経験を考慮しながらも生徒の希望を取り入れることで、個々に使命感を持たせる。販売では、交流学級授業での先生方を中心に関わりを持ち、評価を受けることで社会的自尊感情も高めていきたいと考える。接客の際にははっきりと話すなど言葉の表出が難しい面が見られたため、声の調子や話し方、表情、姿勢に留意しながら、望ましい伝え方も継続的に身につけさせたい。

### ○ 指導観

指導にあたっては、自立活動の6区分である2心理的な安定 3人間関係の形成 6コミュニケーションの内容について、次のような手立てや留意点を考慮して指導を行う。

自分で自分の限界を決めている現状があるため、生徒たちが、主体的に動くことができるように場面を設定し、挑戦や経験をさせていくことで成功体験を重ねて自信を持たせ、困難に立ち向かう意欲をもたせるようにしていく。また、仲間と一緒に考えて実行するなど話し合いを通して、自己主張したり折り合いを付けたりするなど状況に応じたコミュニケーションや集団における役割を理解し、行動することのできる力を育てる。

また、2学年は修学旅行を控えていることもあり、現在お金の計算について学習している。金種は理解できているものの、商品の価格に見合った概算が難しい。本単元では、材料費の計算や販売する際の代金のやり取りを通して、決められた範囲内で金銭を管理する力についても併せて指導をしていきたい。

## 6. 単元目標

- 自分の役割を意識し、集団の中で作り上げていく喜びを感じることができる。
- 他者との適切なかかわり方を身に付け、社会自立に必要な資質を養う。

## 7. 指導計画(全12時間)

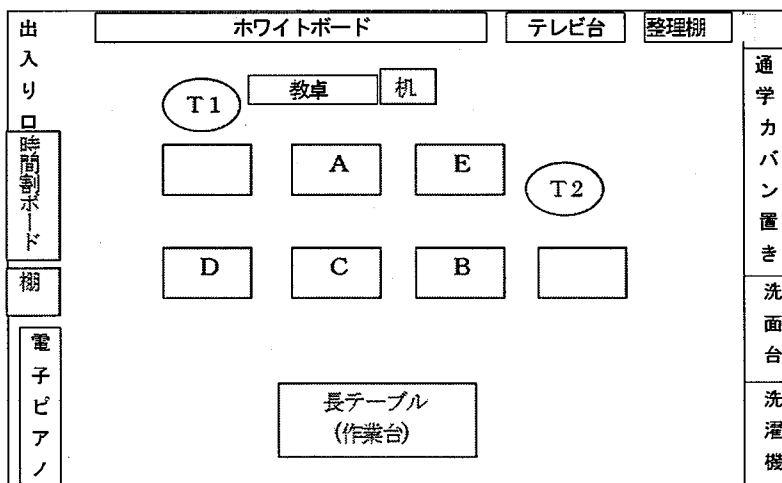
第1次 C1菓子店オープン	・どんなクッキーを作ろうかな ・必要なものや役割分担を考えよう	2時間
第2次 準備をしよう	・試作品を作ってみよう ・材料や費用について考えよう ・注文書を作成しよう ・注文を取りに行こう(リハーサル) ・リハーサルの検討 ・注文を取りに行こう(本番) ・商品を製造しよう①②	8時間(本時5/8)
第3次 クリスマスクッキーを販売しよう		1時間
第4次 振り返り		1時間

## 8. 本時の目標

- 仲間からのアドバイスを受け入れ、客観的な視点を持つことができる。
- 実践を踏まえて、販売を伸ばすための改善点を提案し合うことができる。
- 個別の目標
  - A・他者に自分の行動を評価してもらうことで、自信をつけることができる。
  - B・仲間の考えを調整する立場を意識し、集団としての意見をまとめることができる。
  - C・仲間の意見や行動を見聞きすることで、なりたい自分像を持つことができる。
  - D・話し方や視線の位置について、自分と他者の振る舞いを比較し、適切なかかわり方を意識することができる。
  - E・仲間から自分への評価を前向きに受け入れることができる。
    - ・自分の思いや考えを整理し、相手に意見を伝えることができる。

## 9. 学習過程(別紙)

## 10. 場の設定・教室配置



9. 学習過程

		教師の支援及び留意点 (☆は評価)					資料・備物
学習内容・活動	全体	A	B	C	D	E	
1 始めのあいさつをする。	○一人一人と視線を合わせる。	○T1:姿勢を正しているか確認する。			○T2:身だしなみを確認する。	○T1:本時の号令をするよう声かける。	・ホワイトボード
2 本時のめあてと学習内容を確認する。 [リハーサルから学ぼう] ⑥ リスマスキューキーを販売しよう	○全員が注目していることを確認し、声をはわせて読み合わせる。 ○本時の取り組みは、前回の振り返りから学習することを伝える。	○T1:手が止まっている場合は、再度視線の際にすべきことを確認し、説明する。		○T1:付箋を皆に配るよう、指示する。	○T2:身だしなみを確認する。 ○T1:前回の取り組みの感想(自己評価)を問う。 ○T1:自分と仲間の行動を比較し、違いを見つけて伝える。 ○T2:丁寧な字で書くよう、声かけをする。	○T1:意見がある場合は、手を挙げてから発表するよう、伝える。 ○T2:視線に集中できているか観察する。	・ビデオカメラ ・テレビ ・付箋 ・ストップウォッチ
3 先生方に注文書を渡す際に撮影したVTRを観察する。(5人×3分間)	○乗槽や声の大きさ、視線に注目するよう伝える。 ○視線ごとに、1分間の感想タイムをとる。	○T1:手が止まっている場合は、再度視線の際にすべきことを確認し、説明する。	○T2:相席に集中できているか観察する。 ○T2:文字は大きく書くよう、声かけをする。				
4 1人につき2枚、場面の気付きを付箋にメモをとる。	○2色の付箋を分けさせる。 ピンク:良かったところ ブルー:気になったところ			○T1:何を書けばよいか、具体例を提案する。	○T2:丁寧な字で書くよう、声かけをする。		
5 横造紙にそれぞれ書いた付箋を色別に張り付ける。気付きを全体で話し合う。(5分間)	○5人の机を班隊形にするよう指示する。 ○司会者兼発表者を決めさせる。 ○話し合いのポイントを提示し、順番を決める際はボールを利用させる。 ○特定の生徒の行動に対して意見が集中していないか、注意しながら見守る。	○T1:横造紙にまとめた意見を書き込むよう指示する。 ○T1:司会者が決まらない場合は、進行役を務めるよう促す。 ○T2:ボールを渡す。	○T1:横造紙を取り来るよう、指示する。 ○T1:先々提案していたら、仲間の意見にもしつかり耳を傾けるよう注意する。	○T1:Aのサポートをするよう、声をはかける。 時間も管理させる。	○T2:傍らについて見守る。 ボールがまわってきて照っていたら、落ち着かせる。 ○T2:Aとの間を取り持つ。 相手の良かったところを伝えるよう指示する。 ○T1:仲間の実践を自分の番に置きかえて観察するよう、声かけをする。	・横造紙 ・マーカー ・話し方聞き方カード ・ボール	
6 意見をまとめ、発表する。	○付け加えた方がよい言葉(セールストーク)があれば考えさせる。			○T1:気乗りしない場合は、BとDの練習風景を見てから、行動してみるよう声をかける。			
7 2グループに分かれ、改善点を考えながら練習する。(5分間)	○1人1回は練習させる。 ○あらかじめ決めている担当者が代表して行うよう、声をかける。	○T1:校長先生に渡すことを練習時点で伝えておく。 不安な様子が見られたら、いつも通りに落ち着いて話せば大丈夫だと声かけをする。	○T1:AとDに労いの言葉をかけさせる。	○T1:笑顔からアドバースにもらうよう、伝える。 ○T1:教頭先生に渡すよう、指示する。			
8 実践する。 校長先生と教頭先生に注文書と渡すに行く。							・作成した注文書
9 活動を振り返る。	○仲間の行動場面や発言から学ぶことができた点に気付かせる。 次回が本番であることを伝える。	☆他者に自分の行動を評価してもらおうことで、自信を持って実践することができたか。	☆仲間の意見や行動を見聞きし、なりたいたい自分像を持つことができたか。	☆自分の意見や行動を比較し、適切なかわり方を意識することができたか。	☆自分と他者の振る舞いを比較し、適切なかわり方を意識することができたか。	☆仲間からの自分への評価を前向きに受け入れることができたか。 ☆自分の思いや考えを整理し、相手に意見を伝えることができたか。	
10 終わりのあいさつをする。							